

絶滅危惧 類 ラン科

キンセイラン

Calanthe nipponica Makino

全国カテゴリー；絶滅危惧 B類

【選定根拠】 産地報告が少なく、個体数も少ない。 全ての生育地で生育条件が悪化 全ての個体群で強い捕獲・採取圧により減少

【形態】 多年草で、地下浅い所に球状の偽球茎が横に連なる。葉は3～5枚根生、広披針形で長さ15～30cm。花茎は30～50cm。7月、淡黄緑色の花を10個程まばらにつける。苞は披針形で1～2cm。距が5mm、唇弁は3裂しがく片と同長、側花弁は線状披針形である。

【分布】 北海道～九州に分布する。

【県内の分布、生育状況】 中通り・会津地方の深山樹林下に生育する。ただし今回の調査では確認できなかった。

【生育に影響を与えている要因】 産地局限、園芸採取、森林伐採

絶滅危惧 類 ラン科

写真ページ

キソエビネ

Calanthe alpina Hook. f. var. *schlechteri* (H. Hara) F. Maek.

全国カテゴリー；絶滅危惧 A類

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての生育地で生育条件が悪化 全ての個体群で強い捕獲・採取圧により減少

【形態】 多年草で、地下浅い所に球状の偽球茎が横に連なる。葉は4枚程根生、広披針形・倒卵形で長さ20cm。花茎は30cm程で、花序には子房とともに短毛がある。7～8月、淡紫色の花を5個程つける。苞は披針形で1.5cm。距は2.5～3.0cm。がく片は披針形。唇弁は3裂せず先端部がくし状に切れ込み、がく片より少し短い。側花弁は披針形でがく片より短い。

【分布】 本州や四国に分布する。

【県内の分布、生育状況】 南会津地方の自然林林床に極めてまれに分布する。

【生育に影響を与えている要因】 産地局限、園芸採取

